

亀山御坊永代経法要のご案内

一生には多くの出会いがあります。しかし、別れのない出会いは一つもありません。親子も夫婦も兄弟も知友も必ず別れをもつて終わります。このとき、断ちがたい恩愛の情にさらされて人は自らが何者であるかがわるものです。たしかに、「さよなら」だけが人生の見方を決定づけるものなのです。

「さよなら」は、今まで命を生きながら命に無知であった私が、共に生きた命との別れを通して始めて本当の命に触れることなのです。

仏様がこの命の本性に向かつて思案をし、考えを巡らし、願いをかけ、合掌しておられることを知ったとき、愕然とせざるを得ません。ここから私の命の全貌を明らかにするお念仏の世界がはじまります。

「さよなら」とは仏縁です。私が仏願を抛り所にした新しい自分に巡り逢うことです。このような命の依つて来たる由縁と行く末を自覚した自立的な生き方を菩提の道といえます。

永代経法要の源泉を探ると、この菩提の道を、わが子わが孫は勿論、一人でも多く方々に気付いてほしい、という先祖先達の永代の思いに突き当たります。

下記の通り永代経法要を修行いたしますので、ご参集のほどご案内申し上げます。

合掌

亀山御坊永代経法要日程

四月十二日(土)・十四日(日)

午前七時	晨朝勤行	本堂
午前十時	同行お勤め	蓮如堂
午後一時	永代経法要	本堂

導師 本徳寺 大谷昭仁師

布教 専称寺 野田 茜師

お説経は、法要・お勤め・勤行の後、蓮如堂於

蓮如忌法要・宗祖降誕会のご案内

四月初旬、境内のサクラが満開になり、散つていきます。花命の短さを直視して永代経法要が勤まります。ツツジが咲く頃、**五月十二日**には蓮如忌法要が、そして境内に梅檀の香りが漂う頃、**五月二十一日**には降誕会が勤修されます。是非とも仏縁にお合いください。

個別納骨壇利用のご案内

亀山本坊で自己管理型の納骨壇の利用が出来ます。ご希望の方は左お問合わせ下さい。

問合先・本徳寺事務所・電話(235)0242

亀山御坊永代経法要のご案内

本徳寺では下記の通り、永代経法要が勤められます。「永代経」という名のお経が別にあるわけではありません。仏の願いに目覚めた人が尊いみ教と仏のお徳を子々孫々に伝えるために勤める法要です。

死別を縁に人の命のありようで行く末を仏の願いの中に見出した人が、故人に代わって布施行をつくし、仏徳賛嘆の行に自参して故人との関係を成就させる浄土真宗独特の営みです。さらに、この行事を通してより深く仏法を聞く機会に出会うことが肝心です。

礼讃文にこうあります。「人身受け難し、今既に受く。仏法聞きがたし、今已に聞く。この見今生に向かつて度せずんば、さらにいずれの生に向かつてか、この身を度せん」。人に生まれることはまれなる縁であり、仏法を聞き仏になることはさらに難しいことです。「棚からぼた餅」ですら口を開けなければ餅は口には入りません。仏法を聞くことも同様です。

このように永代経法要はわが子わが孫は勿論、一人でも多く方々に気付いてほしい、という仏縁のあつた先達の永代の思いに支えられているのです。

下記の通り永代経法要を修行いたしますので謹んでご案内申し上げます。

合掌

亀山御坊永代経法要日程

四月十二日（土）・十四日（日）

午前七時	晨朝勤行	本堂
午前十時	同行お勤め	蓮如堂
午後一時	永代経法要	本堂

導師 本徳寺 大谷昭仁師
布教 専称寺 野田茜師

お説経は、法要・お勤め・勤行の後、於蓮如堂

蓮如忌法要・宗祖降誕会のご案内

四月初旬、境内のサクラが満開になり、散つていきます。花命の短さを直視して永代経法要が勤まります。ツツジが咲く頃、五月十二日には蓮如忌法要が、そして境内に梅檀の香りが漂う頃、五月二十一日には降誕会が勤修されます。是非とも仏縁にお合いください。

個別納骨壇利用のご案内

亀山本坊で自己管理型の納骨壇の利用が出来ます。ご希望の方は左お問い合わせください。
問合先・本徳寺寺務所・電話（235）0242